

エネルギー環境教育の ひろば

北海道エネルギー環境教育
研究委員会 広報部会
令和7年(2025年)
6月3日(火)発行
第60号



令和7年度総会開催 ー令和7年5月17日(土)ー



5月17日(土)、ホテルライフオーにて、令和7年度北海道エネルギー環境教育研究委員会総会を開催いたしました。初めに、札幌市立手稲北小学校長 長堀裕信委員長よりご参会の皆様にあ挨拶がありました。その中で「本会はエネルギー環境教育の推進を目的とし、関連する教科・校種の枠を超えながら、札幌、道南支部、旭川支部、道東支部と広く全道各地において幅広い活動を行い、子どもたちのエネルギー有効活用・環境保全への意識の深まりと教員の資質向上に大きな成果を上げてきた。」「様々な国際情勢の中、エネルギー供給に関して心配な状況が続くが、様々な視点で研究推進ができる本研究会の強みを生かしながら、持続可能な未来を創造することができる子どもたちを育むために、これからも活動を推進していく。」と本会が向かうべき方向性を改めて示されました。

令和6年度活動報告・令和7年度活動計画

続いて、札幌市立琴似中学校長 伊藤彰英幹事長より「令和6年度活動報告・令和7年度活動計画」についての説明がありました。始めに、令和6年度の成果と課題を確認するとともに、校種や教科の枠を超えた活動が本会の最大の特徴であることを改めて共通理解し、今年度も各部会の連動と3支部との連携により長期的に持続可能な活動の推進と充実を図っていくことが確認されました。次に、令和7年度の活動方針について、本研究委員会が設定したエネルギー環境教育の『研究仮説』について改めて検証しました。同時に学習指導要領と、我が国のエネルギー政策を捉えながら研究の方向性を確認し、異校種・異教科の全領域を対象として『エネルギー環境教育』に関する授業実践の充実を図ることが再確認されました。加えて、11月14日(金)に函館市立高丘小学校にて開催する「第11回北海道エネルギー環境教育研究大会」に向け研究仮説の検証と研究の方向性と授業の在り方等、準備を進めていくとの説明がありました。また、8月1日(金)に北海道電力(株)の泊原子力発電所の視察研修を開催すること、令和8年2月14日(土)にホテルライフオー札幌を会場に、全体研修会として第11回大会の授業実践報告及び講演会を実施する旨の説明がありました。



各支部計画

各支部より令和6年度の報告と令和7年度の計画について報告がありました。以下に令和7年度の計画を抜粋して掲載します。

【道南支部】

【支部の活動】

- 学習会・授業研・実践交流…オンラインを活用しての研究実践
- 研究大会への参加
- 視察研修の実施
- 各研究団体との連携
- 【研究計画】
- 4月：事務局会議
- 5月：事務局会議・研究部会
- 6月：事務局会議・研究部会
- 7月：事務局会議・研究部会・各研究会との連携会議
- 8月：事務局会議・研究部会・視察研修
- 9月：事務局会議・研究部会・各研究会との連携会議
- 10月：事務局会議・研究部会
- 11月：事務局会議・研究部会
第11回北海道エネルギー環境教育研究大会札幌大会(道南支部)
- 12月：事務局会議・研究部会
- 1月：事務局会議・研究部会
- 2月：事務局会議
- 3月：事務局会議

【旭川支部】

○会議の開催

- 『旭川市教育研究会理科部総会』令和7年4月9日(火)
- 『理科教育の3団体旭川・北海道道北支部総会』
令和7年5月23日(木)

○研修会の開催予定

- 『旭川市小中学校教育研究大会』
令和7年10月8日(火) 会場・講師 未定
- 北海道小学校理科研究会旭川支部との連携
『第72回全国中学校理科教育研究会北海道大会』
『第63回北海道中学校理科研究会
札幌大会』での研究発表
令和7年8月6日(水)～8日(金)
会場 札幌市教育文化会館・ホテルライフオー札幌
- 各種研修会、勉強会への参加、研究補助
- 他の教育研究団体との連携と組織の拡大

【道東支部】

○事務局の活動

- ・6月 所属研究団体の連携と組織づくり・第1回事務局会議
- ・7月 第1回副支部長会議
- ・夏季 エネルギー施設見学会(未定)
- ・10月 第2回事務局会議
- ・9～12月 道東支部研究大会
- ・3月 第2回副支部長会議・第3回事務局会議
- エネルギー環境教育に関わる実践
- ・所属研究団体の全国・全道大会への協力
北海道生活科・総合的な学習教育研究大会釧路大会
北海道小学校理科教育研究大会釧路大会
- ・北海道電力ネットワーク(株) 釧路支店および株 釧路火力発電所との連携
- ・令和7年度道東支部研究大会
9～12月 日時：未定 会場：釧路市立愛国小学校
教科：社会科 授業者：教諭 釜谷 陽子
- ・各研究会等への参加
- ・所属研究団体への教材補助・実践交流

令和7年度役員人事

令和7年度の人事について以下のように承認されました。

○委員長	長堀 裕信	札幌市立手稲北小学校長	(小：生活)
○幹事長	伊藤 彰英	札幌市立琴似中学校長	(中：技術)
○幹事	・ 開発部会長	増谷 忍	札幌市立平和通小学校長 (小：理科)
	副部会長	柳剛 好明	札幌市立明園中学校長 (中：技術科)
	・ 研究部会長	高梨 康人	札幌市立新陵東小学校長 (小：社会科)
	副部会長	島田 貴弘	札幌市立幌東中学校長 (中：社会科)
	・ 広報部会長	小林 俊晴	札幌市立本通小学校長 (小：社会科)
	副部会長	高梨美奈子	札幌市立大倉山小学校長 (小：家庭科)
	・ 高校代表		
	・ 大学代表	佐藤 正直	北海道教育大学札幌校准教授
○理事			
・ 研究団体代表	北海道生活科・総合的な学習教育連盟	西 宏	札幌市立北陽小学校長
	北海道生活科研究会	長堀 裕信	札幌市立手稲北小学校長
	北海道小学校理科研究会	増谷 忍	札幌市立平和通小学校長
	北海道小学校家庭科教育連盟	高梨美奈子	札幌市立大倉山小学校長
	北海道社会科教育研究会	島田 貴弘	札幌市立幌東中学校長
	北海道社会科教育連盟	高梨 康人	札幌市立新陵東小学校長
	北海道中学校理科教育研究会	熊谷 誠二	札幌市立西野中学校長
	北海道技術・家庭科教育研究会	柳剛 好明	札幌市立明園中学校長
	北海道道德教育研究会	長野 文洋	札幌市立元町小学校長
	北海道特別活動研究会	井田 敦	札幌市立大谷地東小学校長
	北海道高等学校理科研究会		
	日本生物教育学会・北海道生物教育会		
	北海道大学エネルギー教育研究会	小崎 完	北海道大学大学院工学研究院教授
・ 支部長	道南支部長	若林 慎也	函館市立中央小学校長
	旭川支部長	安藤 陽	旭川市立近文第一小学校長
	道東支部長	鈴木 穰	釧路市立共栄中学校長

講演『日本のエネルギーの現状と課題』

講師：株式会社ユニバーサルエネルギー研究所 代表取締役社長：金田 武司 氏



総会の報告に続いて行われた講演では、株式会社ユニバーサルエネルギー研究所代表取締役社長の金田武司氏に、『日本のエネルギーの現状と課題』という演題で講演していただきました。最初に「世界で何が起きているのか」ということで、ここ数年での変化を切り口として、経済・戦争・歴史から見たエネルギー問題にフォーカスする所から講演が始まりました。エネルギー政策の失敗が国家の破綻にまで追い込まれる事例や銀行破綻を例に取り、再生エネルギー撤退はなぜ起こるのかまでを分かりやすく説明していただきました。次に、歴史的観点からエネルギーを紐解いてくださいました。原油の価格決定の仕組みや金の価格高騰の背景から、この両者が通貨の価値を支配していることを、第1次オイルショックの事例を交えながら説明してくださるとともに、終戦後、即座に原子力への舵を切った日本の意図についても確認されました。続いて、コロナ禍におけるエネルギー需要や、ロシアのウクライナ侵攻におけるエネルギー事情、そして通貨の価値と戦争との因果関係を、時の指導者の政策を交えながらご教授いただきました。最後に、我が国のエネルギー問題について、1.『危機』だと思ったら原点に戻る 2. 海外依存からは新しい技術や産業競争力は生まれない 3. 原子力発電が経済を支えることは日本の特殊性という歴史が語っている 4. 電源MIXは知恵の結晶であるとともに、数奇な日本の歴史が今を形作っているとまとめてくださいました。我々の知見がより一層深まるべく、幅広い観点からご講演いただき、大変勉強になりました。

講演終了後、高梨研究部会長から「エネルギー問題とは、私たちの想像以上に広く、世界の産業や経済、ひいては人間の生活そのものを激変させてしまう存在であること」「エネルギーの歴史を辿ることで日本と世界の関係、エネルギー資源に乏しい我が国が時代を生き抜くための技術や知恵」「エネルギーとお金、金や石油との関係」「日本の特殊性」など、非常に興味深い内容を、広く、分かりやすく学ぶ機会を頂くとともに、これまでの教育では学べなかったことが多々あったと謝辞が述べられた。また、「エネルギーの尊さと脆さに直面し、私たちの今ある生活はエネルギーに従事する方々、そして世界的な協調とバランスの上に守られていることだ」と感想が述べられました。

